２１　人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現に向けた支援の充実

（国土交通省）

全ての市民や観光客の皆様の円滑な移動を実現し，地域経済の活性化や地域活力の向上を図り，交通政策基本法の基本理念を具現化することにつながる「歩くまち・京都」総合交通戦略をより一層推進していくため，次のとおり求めます。

提案・要望事項

⑴　**交通アクセス向上に資するＪＲ嵯峨野線　京都・丹波口間新駅設置への財政支援**

⑵　**世界トップレベルの自転車共存都市・京都の実現に向けた制度創設等**

⑶　**持続可能で安心・安全な公共交通を維持するための，駅のバリアフリー化に対する補助制度の拡充**

交通アクセス向上に資するＪＲ新駅設置への財政支援

現状・課題

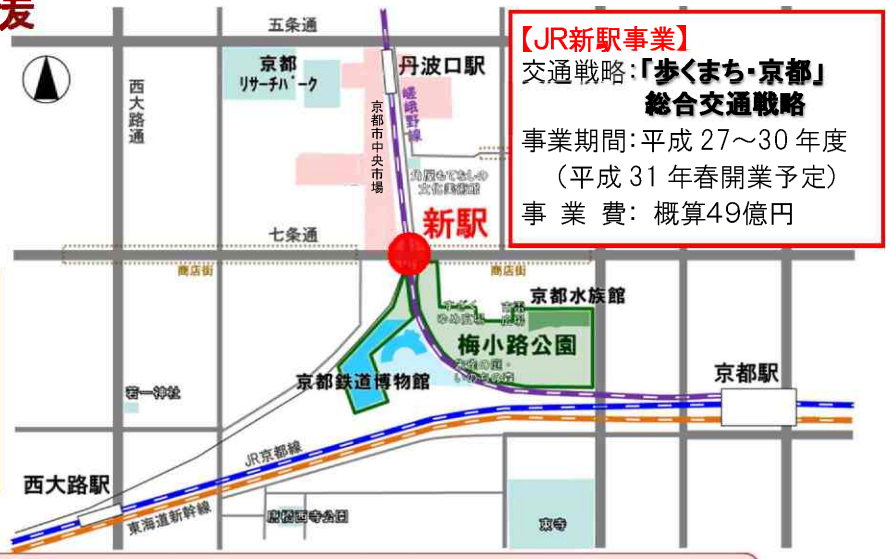
京都駅西部エリアは，梅小路公園をはじめとする，多彩な地域資源が集積しており，京都の成長戦略を推進し，都市格を高めるうえで大変重要な地域である。しかし，**本エリア内の鉄道駅（京都駅・丹波口駅・西大路駅・五条駅）は，いずれもエリアの周辺部にあり，中央に位置している梅小路公園にアクセスするには不便である。**

整備効果

① 京都駅西部エリアの中央に位置している**梅小路公園へのアクセスが向上**することをいかして，「住む」，「働く」，「遊ぶ」といった様々な側面から**新たな人の流れをつくり，地域の活性化**を図る。

② 新駅を軸とし，鉄道や路線バスなど既存の公共交通を再編・強化し，**公共交通の利便性向上や利用促進**を図る。

③ 車利用から**公共交通への更なる転換**を図る。



【JR新駅事業】
交通戦略：**「歩くまち・京都」総合交通戦略**
事業期間：平成 27～30 年度
（平成 31 年春開業予定）
事 業 費：概算49億円

「都市・地域交通戦略推進事業」（交付金メニュー）で，平成２８～３０年度の３年間に約３０億円の財源の確保が必要！

世界トップレベルの自転車共存都市・京都の実現に向けた制度創設等

現状・課題

運転ルール違反，マナーの欠如，歩行者等との交通事故の増加
⇒**①歩行者と自転車利用者が安全で快適に通行できる環境整備**が必要
②自転車事故から被害者と加害者を守る保険制度が必要

①**自転車走行空間の整備**のための必要財源の確保
②自転車を対象とした**自賠責保険制度の創設**
（所有者把握のため全国的な取組が必要）

＜自転車走行空間の整備例＞

効果

①自転車の安全利用に資する走行環境整備を進めるため，**全国初の面的整備の取組**を京都から発信する
（都心部地区などを重点地区として「面的なネットワーク整備」を推進）
②被害者救済として**セーフティーネット**の整備に資する

駅のバリアフリー化に対する補助制度の拡充

現状・課題

①重点整備地区を定め，平成14年度から駅のバリアフリー化を計画的に推進
②バリアフリー化未実施の駅についても，駅員による介助等のソフト対策を実施
③これらの駅については，ホーム拡幅や線路移設等のハード整備が必要な場合もあるが，**補助対象が限定的であるため，整備に要する鉄道事業者の負担が大きく，整備が進まない。**
④今後，高齢者や障害のある方をはじめ，**全ての人が安心・安全で円滑に移動することができる社会を実現するためには，補助制度の拡充が不可欠**

①ホーム拡幅や線路移設等，バリアフリー化に必要となる整備を補助対象に！
②補助対象の拡大に伴い必要となる財源の確保が必要！